



### 部品請求カード

- 部品の紛失、破損などで新たにパーツを御希望の方は、「請求部品のランナー」欄に御希望のランナー名を記入し、パーツ代金(パーツ価格+消費税)+送料300円を現金書留または郵便小為替で当社までお申し込みください。
- 「部品請求カード」1枚につき1キット分のパーツ請求を受けることが出来ます(コピー不可)。
- 下記の価格は予告無く変更する場合がありますので御了承ください。

### パーツ請求のあて先

#### 株式会社ウェーブ/サービス係

〒180-0002 東京都武蔵野市吉祥寺東町1-10-1

●お客様専用ダイヤル TEL: **0422-20-8616**

●電話受付時間 /月~金(祝日は除く)10時~16時

### MK-050 NEUSPOTTER

1/20スケール・プラスチックモデル NS465

## NEUSPOTTER

シュトラール軍 反重力無人偵察機 ノイスポッター



### パーツ価格

- ノイスポッター a ..... 900円(税別)
- ノイスポッター b ..... 900円(税別)
- ノイスポッター d ..... 1500円(税別)
- ノイスポッター e (ベース含む) ..... 1000円(税別)
- ノイスポッター g ..... 1500円(税別)
- FIGURE ..... 600円(税別)
- PE.SLEEVE(2個) ..... 200円(税別)
- 金属パーツセット ..... 600円(税別)
- デカール ..... 1500円(税別)

※PC-02、BJ-04は市販のものをお買い求めください。

### 請求部品のランナー MK-050 NEUSPOTTER

氏名 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

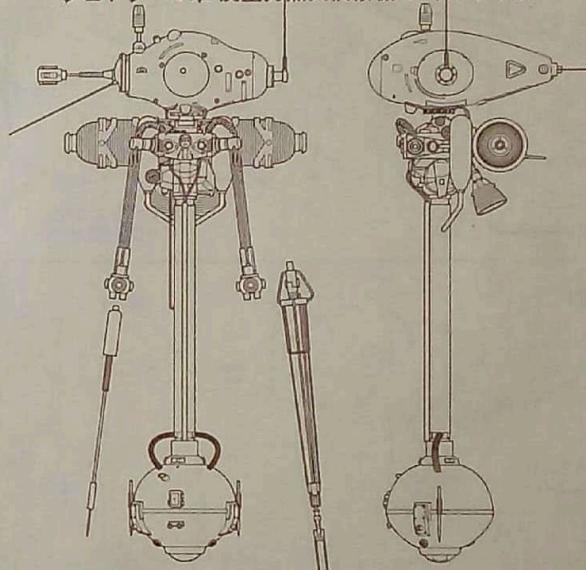
電話番号 ( ) \_\_\_\_\_

Available only in Japan.

NS465

# NEUSPOTTER

シュトラール軍 反重力無人偵察機 ノイスポッター



## Ma.K. Maschinen Krieger

©Kow Yokoyama 2019

Do not cement together Nicht kleben Nie pas cooler 接着しない	Cement parts together Kleben Cooler 接着する
Alternative part(s) provided Wählen Choose 選択	Repeat this operation Vorgang wiederholen Repeat operation 繰り返す
Cut away Schneiden Couper 切る	Assemble firmly and carefully Metallisch part Partie di Metall 金属パーツ
Use cement sparingly Durchsichtiger part Partie transparente 透明パーツ	Cut wires as shown Draft Fil de fer ビニールコード

〈お客様へ〉  
もし部品不足、部品に不良品がございましたら、  
当社サービスまでご連絡ください。不足部品、良品をお送り致します。

株式会社ウェーブ/サービス係  
〒180-0002 東京都武蔵野市吉祥寺東町1-10-1  
●お客様専用ダイヤル TEL: **0422-20-8616**

### 注意 ※必ずお読みください。

- 小さな部品がありますので、誤って飲み込まないように注意してください。
- 顔の危険がありますので、小さなお子様には絶対に与えないでください。
- 組立には刃物などを使用しますので、手を切らないよう十分に注意してください。
- 部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのゴミは捨ててください。
- 部品の入っていた袋などは小さなお子様には絶対に与えないでください。
- 接着剤は閉めきった室内では使用しないでください。中毒の危険性があります。
- 火の近くでの接着剤や塗料の使用は避けてください。

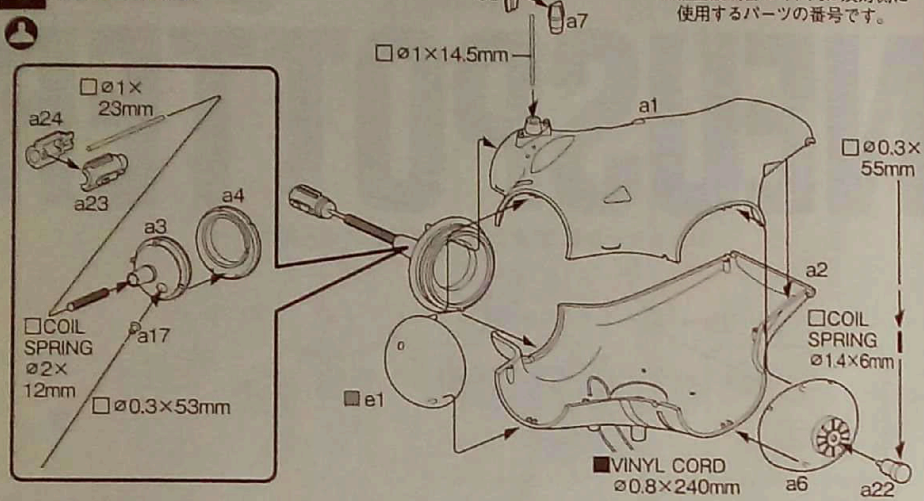
### 〈組み立てる際の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読んでください。●部品は番号を確かめ、極細用ニッパーできれいに切り取ってください。●形状のよく似たパーツがありますので、左右を間違えないように組み立ててください。●このキットには接着剤が入っておりません。プラスチックモデル用接着剤を別にお求めください。

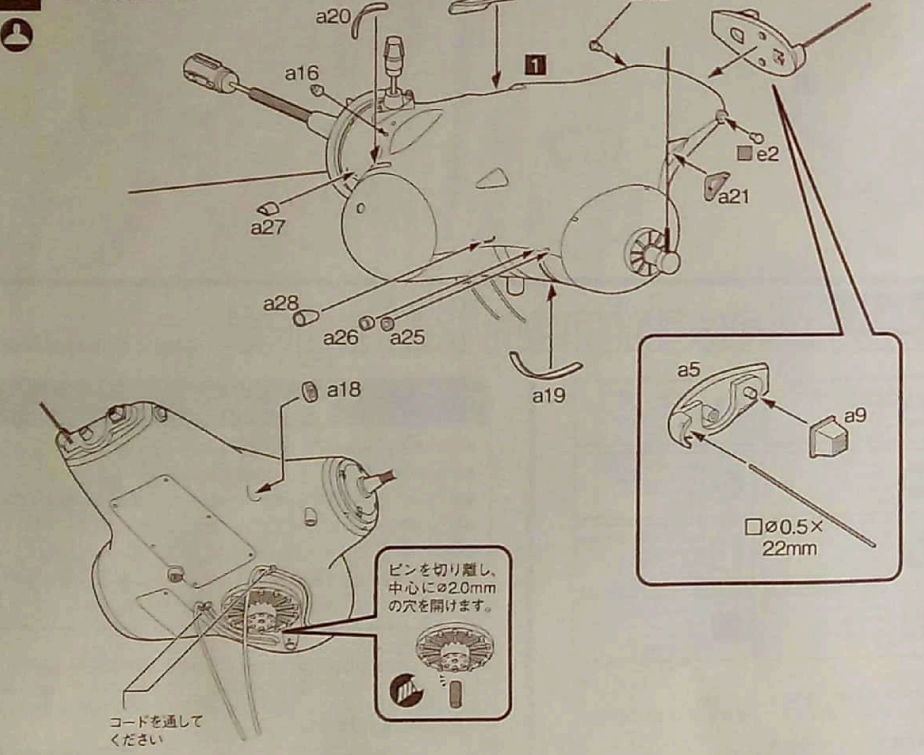
MADE AND PRINTED IN JAPAN  
2019 WAVE CORPORATION



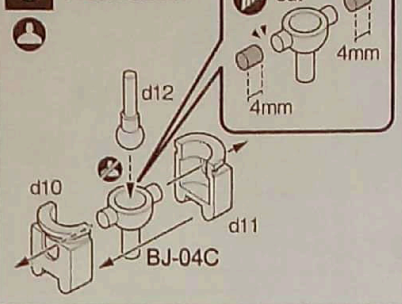
# 1 SENSOR UNIT



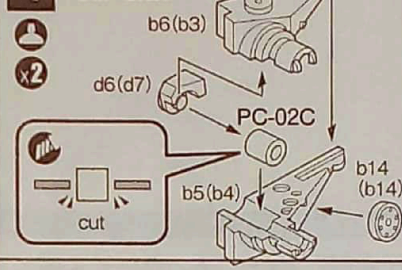
# 2 SENSOR UNIT



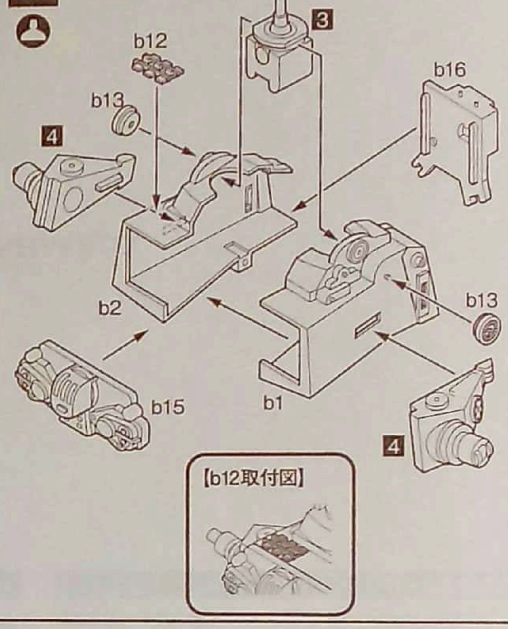
# 3 NECK JOINT



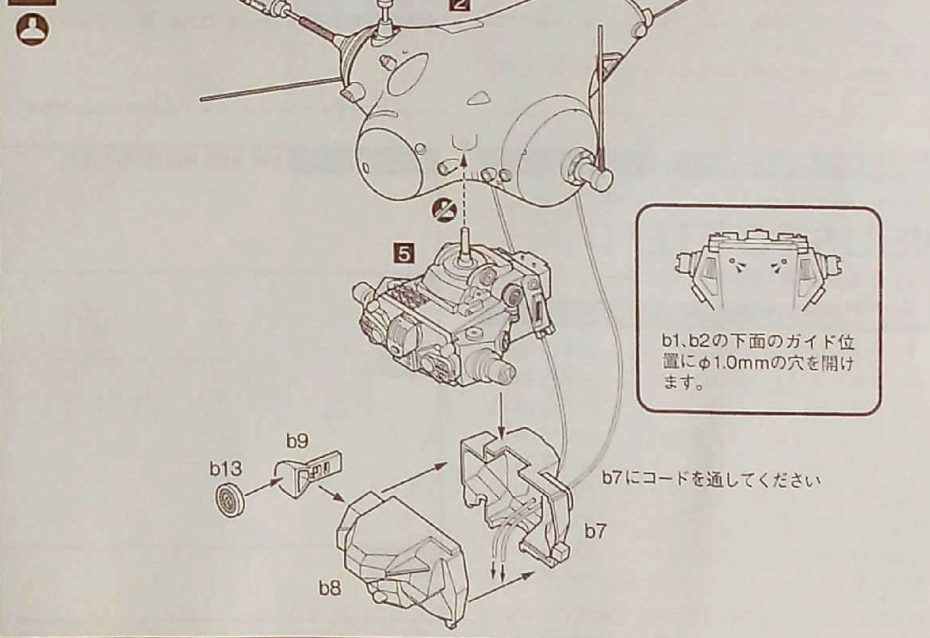
# 4 ARM UNIT



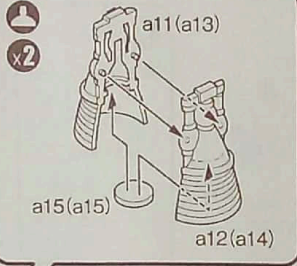
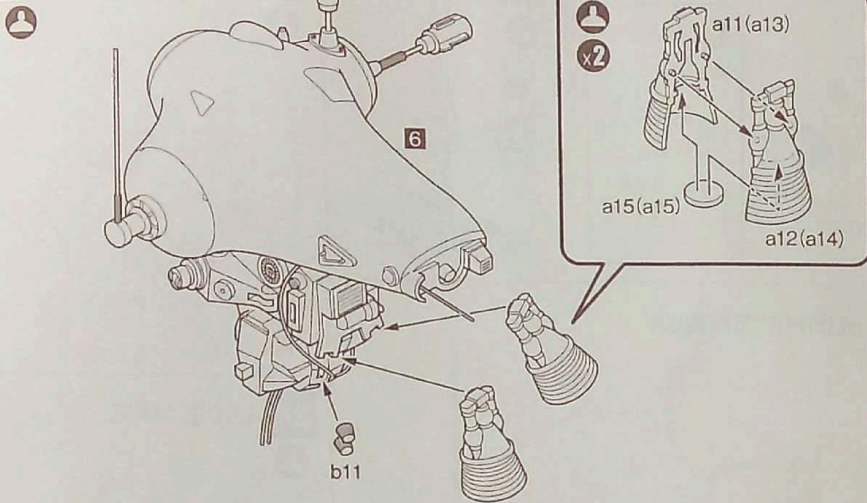
# 5 POWER UNIT



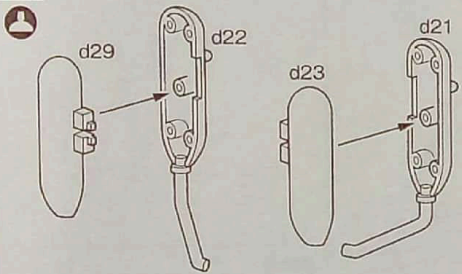
# 6 POWER UNIT



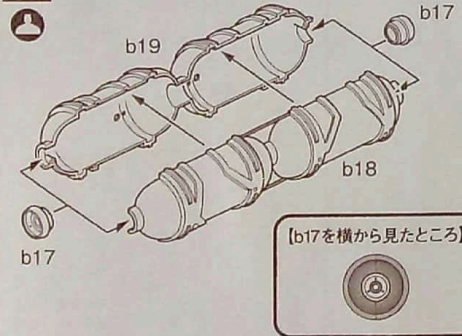
## 7 ROCKET BOOSTER



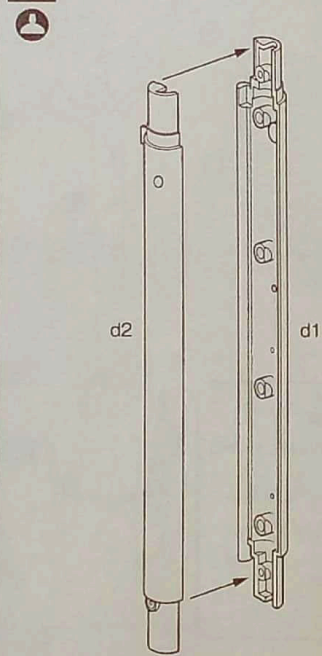
## 8 LIQUID NITROGEN CYLINDER



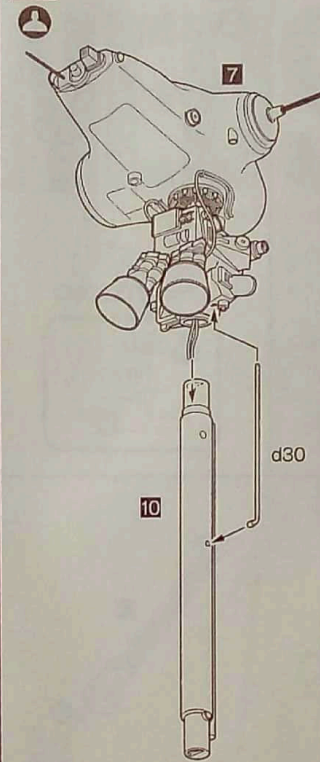
## 9 ANTI-GRAVITY UNIT



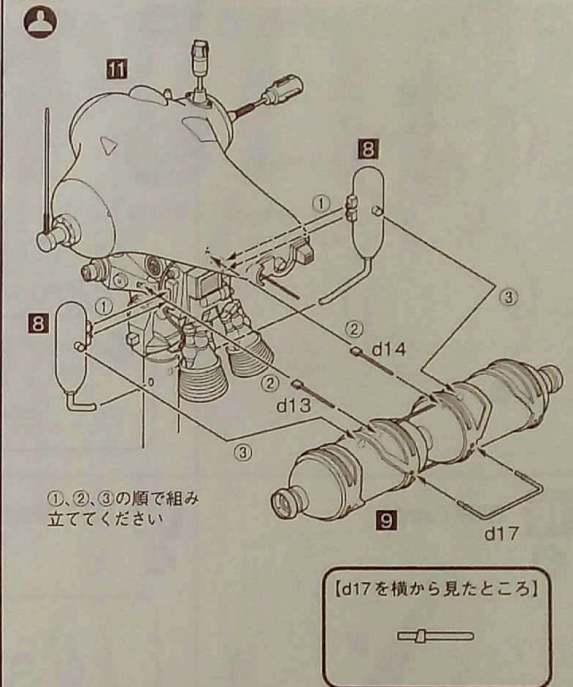
## 10 SUPPORT UNIT



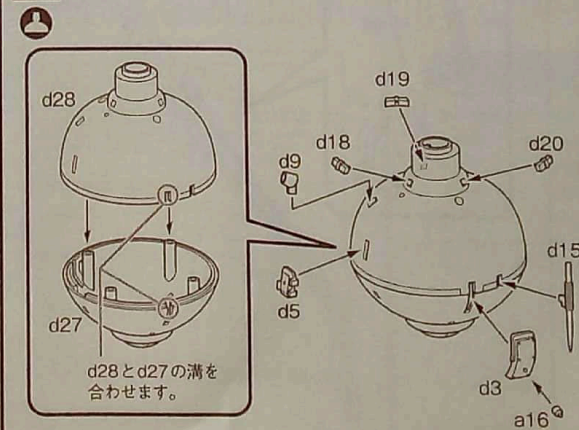
## 11 SUPPORT UNIT



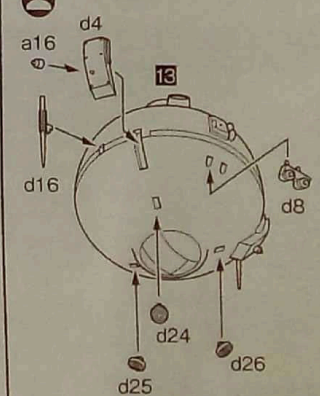
## 12 POWER UNIT



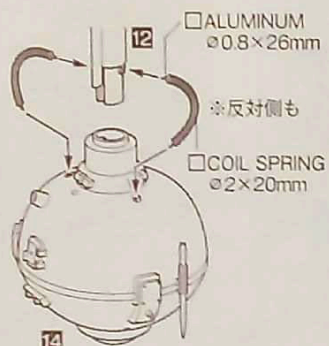
## 13 ANALYSIS MEMORY UNIT



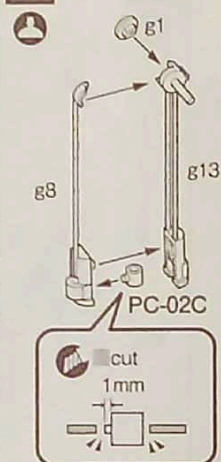
## 14 ANALYSIS MEMORY UNIT



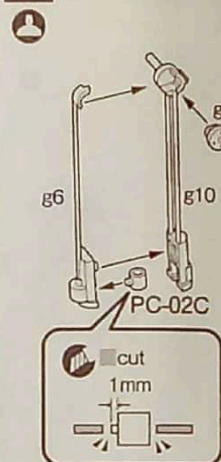
### 15 ANALYSIS MEMORY UNIT



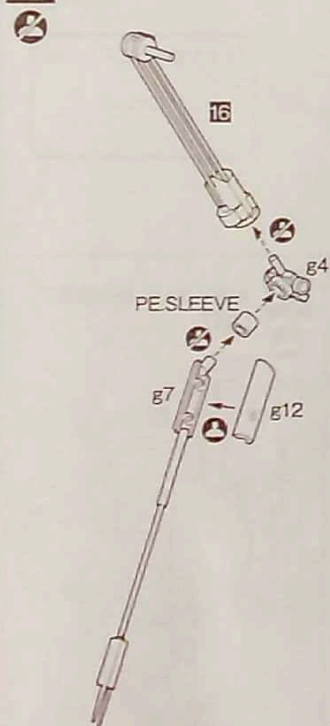
### 16 RIGHT ARM



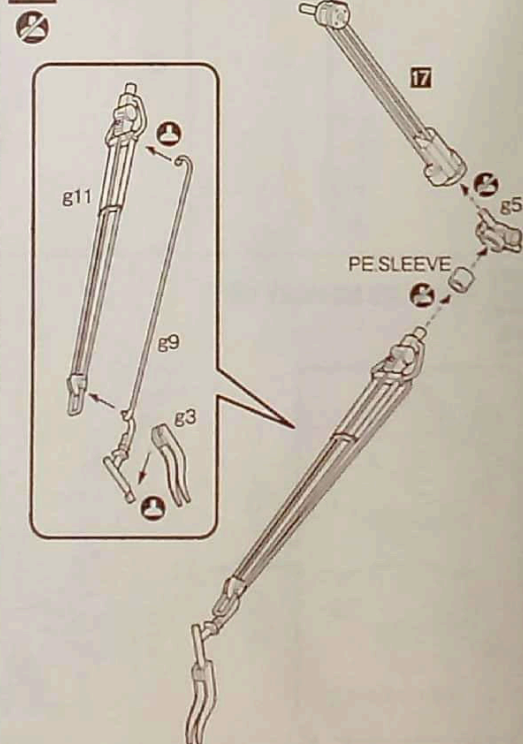
### 17 LEFT ARM



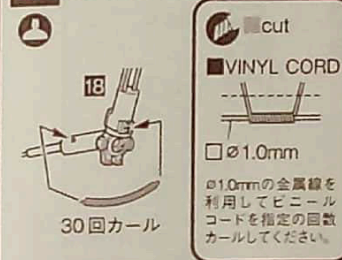
### 18 RIGHT ARM



### 19 LEFT ARM



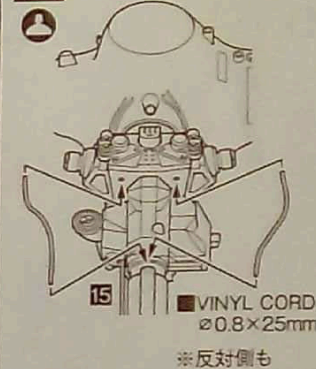
### 20 RIGHT ARM



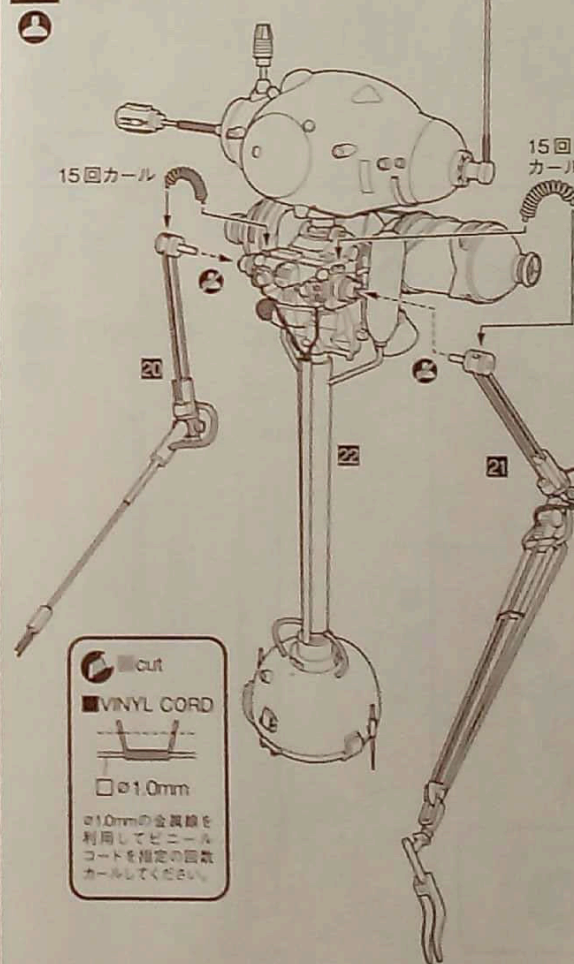
### 21 LEFT ARM



### 22 POWER UNIT



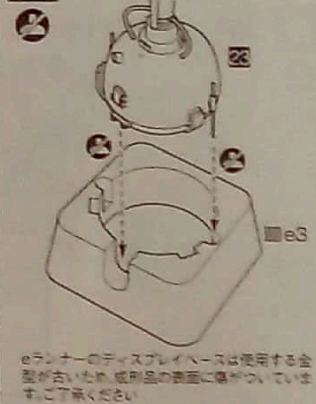
### 23 NEUSPOTTER FINISH



### 24 EDDIE AMSEL



### 25 DISPLAY STAND

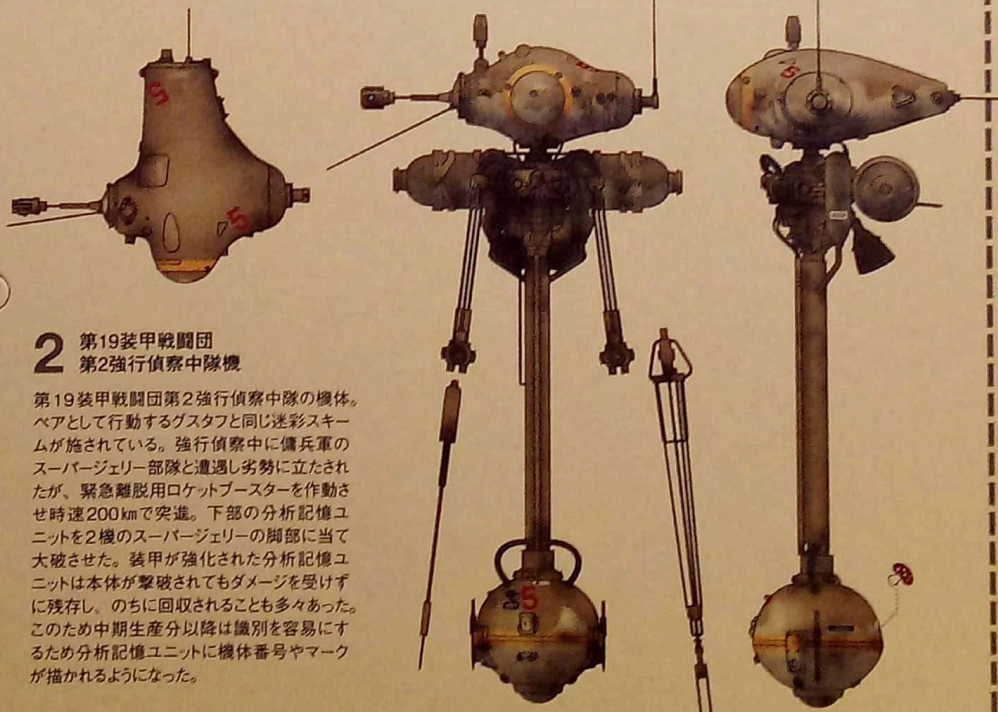
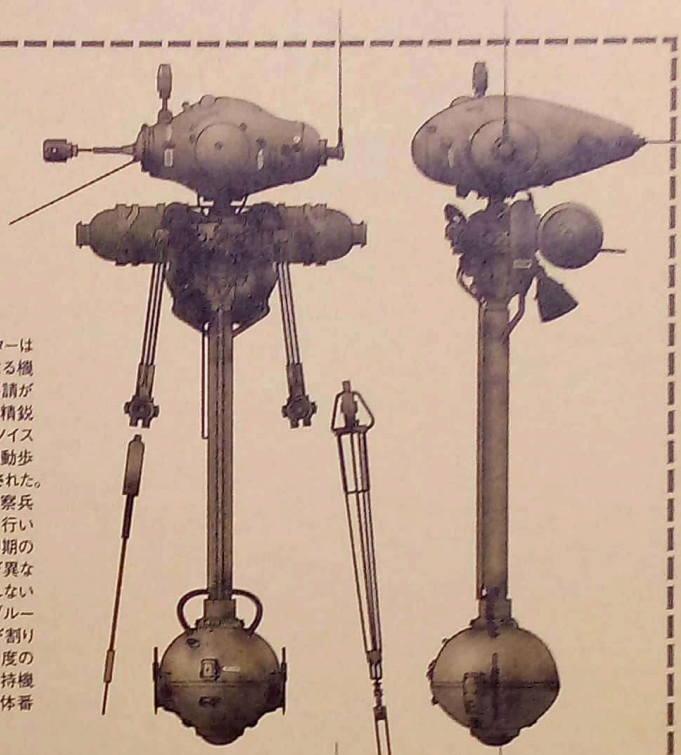


# NEUSPOTTER

NS465

## 1 第300装甲機動歩兵連隊 第1中隊 ブルーノ

クレーテに替わる無人偵察機ノイスポッターは高性能なセンサー類や反重力装置による機動性が高く評価され、前線からの配備要請が殺到した。しかし生産数が少なく一部の精鋭部隊に配備されるにとどまった。最初にノイスポッターが支給されたのは第300装甲機動歩兵連隊で、各中隊に合計23機が配備された。配備初期のノイスポッターは非武装の偵察兵器として性能テストを兼ねた情報収集を行い偵察衛星のような位置付けだった。最初期の機体はグリーン単色で注意書きの位置が異なる。数の少なから敵に個体を特定されないようマークや番号を入れず「アントン」「ブルーノ」などアルファベット順のコードネームが割り当てられた。第1中隊の「ブルーノ」は一度の機体損傷もなく出撃を重ねている記録保持機で、のちに折れた傘の部隊マークや機体番号「9」が追加されている。



## 2 第19装甲戦闘団 第2強行偵察中隊機

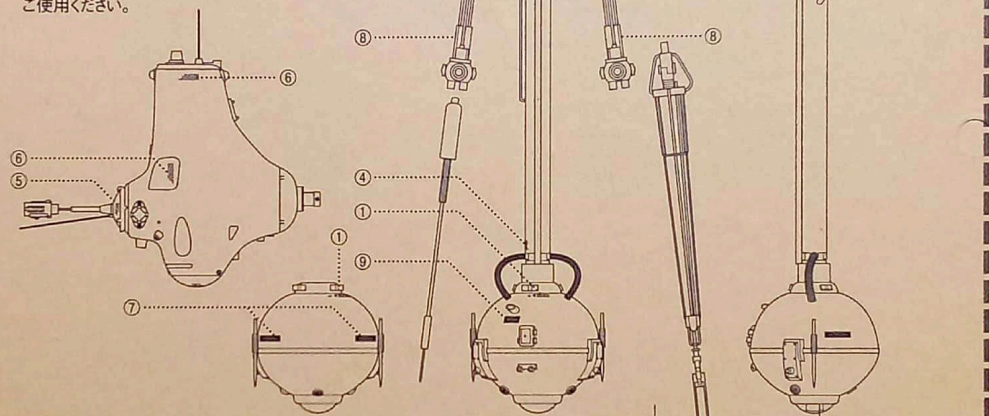
第19装甲戦闘団第2強行偵察中隊の機体。ベアとして行動するグスタフと同じ迷彩スキームが施されている。強行偵察中に傭兵軍のスーパージェリー部隊と遭遇し劣勢に立たされたが、緊急離脱用ロケットブースターを作動させ時速200kmで突進。下部の分析記憶ユニットを2機のスーパージェリーの脚部に当て大破させた。装甲が強化された分析記憶ユニットは本体が撃破されてもダメージを受けずに残存し、のちに回収されることも多々あった。このため中期生産分以降は識別を容易にするため分析記憶ユニットに機体番号やマークが描かれるようになった。

## DECAL

## デカールの貼り方

◇貼りたいマークをハサミ等で切り取り、水に約10秒間浸します。台紙の端を手で持ち、貼る位置にマークをスライドさせてモデルに移してください。ピンセット等でマークを濡らしながら正しい位置へずらしします。布等でマークの内側に残っている気泡を押し出して定着させます。

◇とくに指示のないものはお好みに応じてご使用ください。



### 3 第21偵察中隊 ドライ・アウゲン

第21偵察中隊の機体。敵のオプティカル照準に錯覚を起こさせるのが目的で、中心線を境界に塗装色を変えている。初代のB号機は黒とガルグレーの迷彩塗装でかえって目立ってしまい最初の出撃後、帰還を果たせなかった。2代目のB号機は反省点を踏まえ、夜間戦に特化した無人偵察機として運用。頭部中央のオプティカルシーカーを赤くし夜戦時の迷彩効果を高めた。分析記憶ユニットに目玉のマークがある同機はドライ・アウゲン（3つの目）の愛称で親しまれた。ノイスポッターの配備は軌道に乗らなかったが、高性能ゆえに専用の整備技術兵と整備機器が必要なのも一因とされた。結局、反重力装置や繊細な各ユニットのコストがネックだったため完成度の高い頭部のみを使用したガンスやオスカルなどにノイスポッターのノウハウは受け継がれていった。

